

【非小細胞肺癌】

レジメン名称: ペメレキセド+シスプラチン+キイトルーダ

催吐性リスク: 高度

インターバル日数: 21 日

基準日: day 1

使用する抗癌剤:

Rp	手技	薬剤名称	標準値	上限値	投与	ルート	組織侵襲性
3	点滴静注	キイトルーダ点滴静注	200mg/body	-	day1	フィルター付き	非炎症性
8	点滴静注	ペメレキセド点滴静注液	500mg/m ²	-	day1	-	非炎症性
11	点滴静注	シスプラチン点滴静注	75mg/m ²	-	day1	-	炎症性

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1	day2	day3	day4
1	点滴静注	生理食塩液 100ml ルートキープ用 * 点滴時間30分 投与経路:末梢ルートメイン	100ml	投与順1			
2	点滴静注	生理食塩液 50ml * 点滴時間5分 投与経路:末梢ルートメイン側管	50ml	投与順2			
3	点滴静注	キイトルーダ点滴静注 生理食塩液 100ml * 点滴時間30分 投与経路:末梢ルートメイン側管	200mg/body 100ml	投与順3			
4	点滴静注	生理食塩液 50ml * 点滴時間5分 投与経路:末梢ルートメイン側管	50ml	投与順4			
5	点滴静注	アロカリス点滴静注235mg/10ml パロノセトロン静注0.75mg/5ml デキササート注射液1.65mg/0.5ml 生理食塩液 100ml 点滴静注: * 点滴時間30分 投与経路:末梢ルートメイン側管	1V 1V 6A 100ml	投与順5			
6	点滴静注	生理食塩液 50ml * 点滴時間5分 投与経路:末梢ルートメイン側管	50ml	投与順6			
7	点滴静注	アスパラギン酸カリウム注10mEq/10ml 硫酸Mg補正液1mEq/ml20ml 生理食塩液 500ml 点滴静注: * 点滴時間60分 投与経路:末梢ルートメイン側管	1A 0.4A 500ml	投与順7			
8	点滴静注	ペメレキセド点滴静注液 生理食塩液 100ml 点滴静注: * 点滴時間10分 投与経路:末梢ルートメイン側管	500mg/m ² 計100ml	投与順8			
9	点滴静注	生理食塩液 500ml 点滴静注: * 点滴時間60分 投与経路:末梢ルートメイン側管	500ml	投与順9			
10	点滴静注	20%マンニトール 300ml 点滴静注: * 点滴時間30分 投与経路:末梢ルートメイン側管	200ml	投与順10			
11	点滴静注	シスプラチン点滴静注 生理食塩液 500ml 点滴静注: * 点滴時間60分 投与経路:末梢ルートメイン側管	75mg/m ² 計500ml	投与順11			
12	点滴静注	生理食塩液 500ml アスパラギン酸カリウム注10mEq/10ml 点滴静注: * 点滴時間60分 投与経路:末梢ルートメイン側管	500ml 1A	投与順12			
13	点滴静注	生理食塩液 500ml 点滴静注: * 点滴速度60分 投与経路:末梢ルートメイン側管	500ml	投与順13			
14	点滴静注	ソルアセトF 500ml 点滴静注: * 点滴速度60分 投与経路:末梢ルートメイン	500ml		投与順1	投与順1	
15	点滴静注	ソルアセトF 500ml 点滴静注: * 点滴速度60分 投与経路:末梢ルートメイン	500ml		投与順2	投与順2	
16	点滴静注	生理食塩液 20ml 点滴静注: 投与経路:末梢ルートメイン(ロック用)	20ml	投与順14	投与順3		

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1	day2	day3	day4
1	内服	デカドロン錠	8mg		8mg	8mg	8mg
2	内服	パンピタン末	1g(葉酸0.5mg)	初回投与の7日前から連日投与			
3	筋肉注射	メチコバル注射液500 μg	1000 μg(2A)	初回投与の7日前に投与、その後9週ごと(3コースごと)に1回投与			